

IBM WebSphere Business Services Fabric for Multiplatforms および WebSphere Business Services Fabric for z/OS

ハイライト

- 切迫したビジネスの問題にビジネス・ユーザーが迅速に対応できるような IT システム構築を支援し、その一方で IT 部門の手間とコストを軽減
- 複数のビジネス・プロセスや異種の IT システム間で、迅速なイノベーションと柔軟な変更を実現
- ビジネス・サービスの作成、管理、ガバナンスを実現
- ビジネス・サービス・ポリシーによって、ビジネス・プロセスにアクションを指示
- 単一の Web ベースのグラフィカル・ユーザー・インターフェースを提供して、ビジネス・ユーザーによる IBM WebSphere 製品群上に存在するビジネス・プロセスやビジネス・プロセス管理アプリケーションのコンテンツとの対話を支援

加速する変化についていけますか？

めまぐるしく変化する経済状況、グローバル・レベルでの熾烈な価格競争、複雑化する規制要件、業界の整理統合 — このような状況により、今まで誰も経験したことのないようなスピードで組織の変革が進んでいます。迅速に競争に対応し、新しい市場機会を生かし、リスクを減らすことが今日のビジネスにとって必須です。

IBM が 2008 年に 1,000 名以上の CEO を対象に行った調査では、その 87 パーセントが、今後 2 年以内に根本的な変革を行なって、ビジネスのイノベーションを推進する必要があると答えています。さらに、グローバルに統合された企業になることが必然であるにもかかわらず、予想される変化とその変化に対応する能力の間にギャップがあるという回答は、3 倍増の 22 パーセントに上っています。

IBM に寄せられるお客様の声には、変化への対応を最優先課題とすべき理由がはっきりと示されています。一般的な懸念には、次のようなものがあります。

- 企業買収の結果、システムの重複が発生する
- 既存システムが原因で、コンプライアンス規制のための活動を文書化するのが難しい
- パッケージアプリケーションを実装したところ、変更要求のバックログが減るところが増加した

俊敏性によって競争力を高め、イノベーションを促進

一流の顧客優遇プログラムを提供する企業であれ、高効率の医療費請求アプリケーションを提供する企業であれ、さらには業界最速のオンライン・バンキング・サービスを提供する企業であれ、鍵となる差別化因子や競争優位性を獲得するには、個別の製品やサービス・オフ

リングだけでなく、優れたビジネス・プロセスが必要であるということを認識しなければなりません。今日、企業はビジネス・プロセスを通じて競争優位性を発揮し、レベルアップを図っています。ビジネス・プロセスは重要な戦略的資産であり、競争において必要な武器であるということを、今からでも考えるべきなのです。

ほとんどの CEO はビジネス・モデルの変更が必要だと考えていますが、融通の利かないビジネス・プロセス、相互に固く結合している、または他の機能と断絶している既存の機能、ビジネス部門と IT 部門の連携の欠如、スキルやツールの不足などの原因が存在している限り、変化と、その変化に対処する組織の能力ギャップを埋めることは容易ではありません。

このギャップを埋めるには新しいアプローチを考える必要があります。IBM Smart サービス指向アーキテクチャー (IBM Smart SOA™) が実現するビジネス・プロセス・マネージメント (BPM) は、ソリューションの効率的な構築、既存資産の再利用、変化への柔軟な対応を促進し、ビジネス・プロセスの設計、管理、最適化の手段を改善します。

「この10 年間にはその前の 90 年間よりも大きな変化が起きました」

— Ad F. Scheepbouwer, CEO, KPN Telecom*

BPM と Smart SOA のアプローチを組み合わせることは、業界でリーダーシップを持ち続けたいと望む企業にとっての至上命令になりつつあります。BPM と Smart SOA のアプローチを併用すると、プロセス変更のたびに開発を最初からやり直すことなく、高いレベル

の俊敏性、柔軟性、プロセス最適化を実現できます。IBM WebSphere® Business Services Fabric は BPM と Smart SOA のアプローチを組み合わせ提供します。この製品を活用すれば、ビジネスアナリストは、IT への影響を最小限に抑え、しかも既存の IT 資産を無駄にすることなく新しい企業プロセスを迅速に作成したり、ガバナンスを保ちながらプロセスを変更することができます。

WebSphere Business Services Fabric は共有と再利用が可能なビジネス・サービスを提供し、それらはビジネス・サービス・ポリシーの定義に基づいて動作します。ビジネス・ユーザーは、ビジネス・サービス・ポリシーの構成を編集することにより、ビジネス・プロセスへの変更を定義、管理、実装することができます。ポリシーの利用は、ハード・コーディングされた複雑なルールやカスタム・コードよりもシンプルで、精度が高く、さらにはるかに経済的なため、お客様は変化するビジネス・ニーズに素早く対応して、投資回収率 (ROI) を高めることができます。またビジネス・サービス・ポリシーによって、より大きいビジネス・プロセス内でのモデリング、可視性、モニタリングの改善が可能になります。

WebSphere Business Services Fabric はロール、チャンネル、ルールのように、従来は柔軟性が低く、バラバラに存在していたプロセス属性を、更新しやすいメタデータ・ストアと実行時環境で集中的に管理、処理します。これによって全社的なビジネス・ポリシーの変更を、関連する全プロセスで同時に共有することが可能になります。このような動的なサービス選択機能により、インターネット、企業間取引 (B2B)、対話式音声応答 (IVR) システムなどの複数の通信チャンネルを介して、サービスの提供形態を柔軟にカスタマイズできます。

既存 IT 資産に対する ROI を向上

WebSphere Business Services Fabric は、お客様が既に保有されている IT 資産を利用して動的な実行環境を構築し、ビジネスの改善を着実に継続して、お客様企業が漸進的に ROI を向上できるよう支援します。ビジネス・サービスの再利用や共有によって、ROI はさらに改善します。以前なら変更数カ月を要したものを数時間に短縮できるため、お客様にも、お客様のお客様にも、さらにはビジネスの競争にも、即座に効果が現れます。

WebSphere Business Services Fabric は様々な標準に基づいたオフリングであるため、IT 担当者はビジネス・サービスのライフ・サイクルを管理し、その組み立てとデプロイメントをシンプルかつ迅速に、ビジネス主導で行うことができます。IBM のライフ・サイクル管理機能には、サービスの発見から廃棄に至るまで、ローカル/リモートのビジネス・サービスの取得、モデル化、組み立て、デプロイ、管理、ガバナンスを行う能力が含まれています。

WebSphere Business Services Fabric には、以下のような実行時、設計時、管理時に使用する機能が統合されています。

- ビジネス・サービス・ポリシーの定義および実行と、コンテンツ、コンテキスト、コントラクトに基づいた動的ビジネス・サービスの組み立ておよび振る舞いの適用を可能にする、拡張性に優れた実行時エンジン
- サブスクライバーごとのサービス・パッケージの作成、制御、管理を可能にする、サブスクライバーごとのビジネス・サービスへのアクセス制御の管理と自動化。主なセキュリティ製品やユーザー管理製品との容易な統合
- ビジネス・プロセスとアプリケーションの可視化とモニタリング、およびイベントと例外の分析
- 設計時、実行時、デプロイ時、管理時を通じたエンドツーエンドのビジネス・サービスのガバナンス
- ビジネス・サービス、ビジネス・サービス・ポリシー、ビジネス・サービスへのアクセス制御の保管と管理

ビジネス・ユーザーがより操作しやすいように、WebSphere Business Services Fabric は IBM Business Space を同梱しています。Business Space は WebSphere BPM 製品共通のグラフィカル・ユーザー・インターフェースで、ビジネスアナリストはこれを使ってビジネス・サービス、ビジネス・サービス・ポリシー、ビジネス・ボキャブラリーを管理することにより、個別業務のプロセスや全社的なプロセスを作成したり、変更したりすることができます。IBM Business Space は以下のような特長を備えています。

- ユーザーは自分用の「スペース」を作成できます。これは、Web ベースのツール内に、ビジネス・プロセスのアプリケーションまたはコラボレーションのユーザー・エクスペリエンスを組み込んだページの集合です。
- カスタマイズ可能なテンプレートが用意されているため、プロセス用の共有のユーザー・エクスペリエンスやプライベートのユーザー・エクスペリエンスを素早く作成できます。
- IT 開発者が BPM エンド・ユーザー向けのエクスペリエンスを開発する際にも、既存の製品コンテンツの再利用の改善、およびユーザー・インターフェースを組み立てるためのツールの簡素化により、価値実現までの時間を短縮できます。
- ビジネス・プロセスのコンテンツを一元的に把握できる画面により、コンテキストに沿ったコラボレーションを 1 か所で行えます。
- ビジネス・ユーザー用の共通のインターフェース・コンポーネントとして、以下のランタイム製品に同梱されています。
 - IBM WebSphere Business Services Fabric
 - IBM WebSphere Business Monitor
 - IBM WebSphere Process Server
 - IBM WebSphere Business Modeler Publishing Server

WebSphere Business Services Fabric は複数の言語をサポートしているため、お客様は世界中で自社のビジネス・サービスを利用できます。現在サポートしている言語は、英語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、ブラジル・ポルトガル語、日本語、韓国語、中国語 (簡体字)、中国語 (繁体字) です。さらに新たにチェコ語、ハンガリー語、ポーランド語もサポートされ、基本的な双方向テキストのサポート (左書き、右書きの言語両方に対するサポート) も提供されています。

WebSphere Business Services Fabric はサービスの発見、再利用、ライフ・サイクル・ガバナンスを円滑に進めるため、IBM WebSphere Service Registry and Repository の使用を前提としています。

業界ごとに異なるソリューション・

デリバリーをスピードアップ

WebSphere Business Services Fabric には多数の業界コンテンツ・パックがオプションとして用意されています。業界コンテンツ・パックには一般的な業界標準とベスト・プラクティスをベースにした、拡張性に富んだ構築済みの SOA コンテンツが含まれており、業界に特化したビジネス・ソリューションの構築を迅速化します。

以下の業界コンテンツ・パックが用意されています。

- IBM Insurance Property and Casualty (P&C) Content Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Healthcare Payer Content Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Banking Payments Content Pack for WebSphere Business Services Fabric
- IBM Telecom Operations Content Pack for WebSphere Business Services Fabric
- NEW IBM Product Lifecycle Management (PLM) Content Pack for WebSphere Business Services Fabric

新しい WebSphere Business Services

Fabric バージョン 6.2 には、新たなコンテンツ・パックを開発するための規定を示すガイドが含まれています。このトレーニング・キットが提供するものは以下の通りです。

- ビジネス・パートナー様やお客様が独自に固有のコンテンツ・パックを構築するのに役立つハウトゥー・ガイドと方法論
- アーキテクチャーとアセットの構成に関する詳しい情報、アーキテクチャーの使用および拡張方法に関する情報、および既存の業界コンテンツ・パックの例
- WebSphere Business Modeler および WebSphere Business Monitor との高い相互運用性
- 業界コンテンツ・パックの参照実装を使用したビジネス・サービス・ポリシーを含む、ビジネス・サービスのエンドツーエンドの実装

バージョン 6.2 からオプションで IBM

Product Lifecycle Management (PLM)

コンテンツ・パックが提供されます。これには以下の特長があります。

- 自動車、エレクトロニクス、航空・防衛、その他製造などの業種に適用できます。
- 広く採用されている以下の業界標準に基づいています。
 - APQC PCF (American Productivity & Quality Center Process Classification Framework) モデル
 - OMG PLM (Object Management Group product lifecycle management) Services 2.0
 - Verband der Automobilindustrie e. V (VDA) 4965
 - OAGIS (Open Applications Group Integration Specification) 9.1 Models
- 製品データ管理、技術変更管理、部品表、サプライヤーとのコラボレーションなどの業務分野に焦点を当てる
- 機能およびプロセス・マップ、ビジネス・サービス・テンプレート、サービス・インターフェース、共通サービス、ビジネス・オブジェクト・モデル、ビジネス用語などの PLM 独自の資産を含む
- OEM (相手先商標製造業者)、サプライヤー、サービス・プロバイダー、その他の製造元から構成されるエコシステム向けの資産を提供
- IBM Product Development Integration Framework のコア・オファリングを含む

さらに、WebSphere Business Services

Fabric バージョン 6.2 では Telecom

Operations Content Pack がアップデートされ、以下の機能が追加されています。

- 拡張版ビジネス・サービス・テンプレート、スキーマ、および請求処理、在庫管理、フルフィルメント、保証の追加のサービス・インターフェース
- 追加のアサーションおよびメタデータを含む改良版ビジネス用語集

小規模にスタートし、マイペースでプロセス変革を拡大

成果として求めるものが、ビジネス・プロセスの小さな改良、例えば自動化であっても、オーバーヘッドを削減するための全面的なプロセスのリエンジニアリングであっても、IBM はお客様の目標の達成をサポートします。ある分野のビジネス・プロセスに焦点を合わせるところから始め、その後そのプロセスを他の分野で再利用するという方法もあります。また、動的なプロセス管理における製品の機能やベスト・プラクティスを包括的に利用して、動的なプロセス管理からさらに一歩進んでプロセス変革に取りかかることもできます。これによって変化やビジネス・ニーズに迅速かつ効果的に対応する能力を飛躍的に高めて、俊敏性に富んだ企業を作り出すことができます。

この市場をリードするオファリングは IBM

WebSphere Dynamic Process Edition としても使用可能です。またこのオファリングのコアとなるのは WebSphere Business Services Fabric です。IBM BPM スイートの中核である WebSphere Dynamic Process Edition は、お客様のビジネス・プロセスを継続的に、そして動的に最適化できるようにすることで、変化の力を生かします。また、ビジネス・プロセスを共有、発見、再利用することで、IT とビジネスの整合性を向上させるのにも役立ちます。WebSphere Dynamic Process Edition には、シミュレーション機能や迅速なデプロイメント機能から、既存のリソースを再利用または共有しながら、必要時に必要な変更を構成するためのプロセスのベスト・プラクティスおよびプロセスをリアルタイムに一目で把握するための機能に至るまで、BPM の動的なビジネス・プロセス機能がエンドツーエンドで装備されています。お客様はビジネス変革を継続的に少しずつ実装し、時間をかけて持続的にビジネス・プロセスを改善していくことができます。IBM には他に例のない専門技術・知識、市場をリードするビジネス・プロセス管理と SOA の方法論、充実したコンサルタントとサービス、さらには業界最大の BPM パートナーのエコシステムが揃っています。WebSphere



Dynamic Process Edition と WebSphere Business Services Fabric を組み合わせることにより、ビジネス部門と IT 部門が協力してイノベーションや市場シェアの拡大を実現するとともに、競争のための基礎を固めていくことが可能になります。

動的な BPM によって生産性を高め、コスト削減を実現した保険会社

課題:ある保険会社では、既存の IT システムに柔軟性がなく、商品ラインは大規模で常に変更が行なわれていました。

ソリューション:同社では SOA 対応の BPM ソリューションをデプロイし、IBM の保険業界用の業界コンテンツ・パックを採用して商品の市場投入時間を短縮しました。また、主要な機能をアウトソーシングできる、自動化されたオンデマンドの IT インフラストラクチャーも構築しました。

結果:6 カ月以内に、資産の再利用率は最初の見積値の 16 倍、52% に達しました。また、保険料は全体で 4% 増え、コール・センターのトラフィックと手作業によるプロセスの削減により、運用コストが下がりました。

* 出典:「IBM Global CEO Study: The Enterprise of the Future」、2008 年 5 月

詳細情報

WebSphere Business Services Fabric、業界コンテンツ・パック、WebSphere Dynamic Business Process Edition によって効果的にビジネス・プロセスを管理する方法の詳細については、IBM 担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、次の Web サイトをご覧ください。

- ibm.com/jp/software/websphere/bpm/
- ibm.com/jp/software/websphere/bpm/fabric/
- ibm.com/jp/software/websphere/bpm/wdpe/

また、IBM グローバル・ファイナシングでは、お客様独自の IT ニーズに合わせてファイナシング・ソリューションをご提供します。有利な利率、柔軟なお支払いプランとローン、資産の買い取りおよび廃棄の詳細については、次の Web サイトをご覧ください。

ibm.com/financing

© Copyright IBM Corporation 2009

日本アイ・ビー・エム株式会社
ソフトウェア事業
〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12

Produced in Japan
May 2009
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、および WebSphere は、International Business Machines Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。これらおよび他の IBM 商標に、この情報の最初に現れる個所で商標表示 (® または ™) が付されている場合、これらの表示は、この情報が公開された時点で、米国において、IBM が所有する登録商標またはコモン・ロー上の商標であることを示しています。このような商標は、その他の国においても登録商標またはコモン・ロー上の商標である可能性があります。現時点での IBM の商標リストについては、ibm.com/legal/copytrade.shtmlの「Copyright and trademark information」をご覧ください。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。

本書に記載の製品、およびサービスが必ずしもその他の国においても提供されるとは限りません。日本で利用可能な製品、プログラム、またはサービスについては、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。



Recyclable, please recycle.

WSD14029-JPJA-00